
小説家になろう日記講座

注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

【小説名】

小説家になろう日記講座

【コード】

N4008C

【作者名】

【あらすじ】

ネットで日記を書いて5年の筆者が、その持てる力の全てをドブに捨ててみました。

レッスン1「演出としての嘘」

個人サイトを見るとその多くに日記というコンテンツがあります。今回はこのネットの日記という物にスポットライトを当てて、いろいろと考えていきたいと思います。

さて、なぜサイトのコンテンツといえば日記なのでしょうか。手軽だし。

ここで終わってはご先祖様に申し訳が立ちません。続行です。日記を書くにしてもネットに公開する以上「他の人に見せる」という事を意識しないとイケません。

なんでもない日常の事をただ綴るだけでは読んでいて面白くなりません。

誰もが経験するような事は新鮮味がなくて、読者の興味を引かないと思われます。

実はCIAのエージェントで機密情報漏れまくりとか、非日常を過ごしているような人ならそのままです、そうではない我々一般人はそういうわけにもいきません。

そこで私は提案します。

「嘘」を利用しましょう。

日常を描く中に演出としての嘘を混ぜるのです。

例えば

8月11日

朝食を食べて家を出た

確かにそれはそうなのでしょうが、このままでは人の心を震わせ

る事はできません。

そこで私が手本としてちょっとした嘘を混ぜてみるので、上の文と比較してみてください。

8月11日 雨

朝目覚めるとそこはネバーランドでピーターパンがフック船長をファックしながら嘘ついて鼻が伸びていた。

私は朝食にテーブルの上を飛んでいたティンカーベルを捕まえて味噌つけてそのままかじる。

ピーターパンに伸びた鼻で殴られた。

時計を見るとこのままでは遅刻してしまう時間だったので、急いで服を着替えて玄関へ向かった。

玄関では執事が私のノートをちぎっては口に入れてもりもり食べていた。

「執事による羊の真似です」

真顔で言い放つ執事に私は思わず突っ込みを入れた。

「それじゃラクダだろばーか」

いかがでしょうか。

本当は晴れだったのを雨にしてみました。

このちよつとした嘘により平凡な日常が非日常へと姿を変えたのです。

これを応用すれば、スリリングな日記になることでしょう。

ふと思ったんですけど、私は馬鹿かもしれません。

レッスン2「ネタ拾い」

それでは元気よく日記講座レッスン2をはじめましょう。

今日のテーマは「ネタ拾い」

日記の内容を左右する最初の工程です。

いいネタを拾うことができればいい日記が書ける、とは限りませんがいいネタを拾うに越した事はありません。

そこでいいネタを拾う方法ですが、誰か教えてください。

ここで終わってはご先祖様に申し訳が立ちません。続行です。

うーん、まあ、そうですね、日常の生活でもちよつとしたネタも見逃さないように、目を光らせておくといいかもしれません。

分かりやすくシミュレートしてみます。

朝、目が覚めると天井のしみが顔に見えた。こいつはネタになる。ベッドの上で体を起こすと、枕のしみが顔に見えた。こいつはネタになる。

トイレに行くと、パンツのしみが顔に見えた。こいつはネタになる。

キッチンに行くと、幼馴染が裸エプロンで朝食を作っていた。こいつはネタにならない。

「あ、おはよう。よく眠れた？」

とかいいながらトーストをこっちに持ってきた。ちらちらと乳首が見える。こいつはネタにならない。

「今日はいい天気だから一緒にどこか行かない？」

キッチンに向かいながら顔だけ振り向いて話し掛けてくる。尻が

丸見えだ。こいつはネタにならない。

「うふふ、この格好どう？ 興奮した？」

そう言いながらその場でぐるりと一回転した。エプロンがふわりと浮き上がってちんこ見えた。これはもう無理だ。

いかがでしたか。

なんでもない日常でもネタを意識しながら観察すればそこはネタの宝庫なのです。

途中から趣旨が変わってませんか。

レッスン3 「文の長さ」

出来心からはじまった泥沼シリーズも、めでたい事にいよいよ第3回を迎えました。

それでは勢いよくいってみましょう。

今回のテーマは、文の長さです。

長い方がいいのでしょうか、短い方がいいのでしょうか。

昔読んだ文章法がどうかとかという本に、なんでしたっけ、長いよりは短い方が読みやすいとかそういうことが書いてあったような気がします。海馬よ目覚めよ。

えーとそうそう、ひとつの文は短い方がいいんだった。

あんまり長いと主語と述語の関係が迷宮入りするとか何とか。

そんな感じで例文を書いてみるので、長い文と短い分がどう違うのか比べてみましょう。

7月22日 僕らを祝福するかのような晴れ

僕が彼女の目を真剣な思いで見つめると、彼女も僕の目をその澄んだ瞳で見つめ返してきたので、僕は思わず彼女を抱きしめたら、彼女もまた情熱的に腕を僕の背中に回してきたので、二人でそのままベッドに倒れこみ、しっかりと抱き合いながら唇を貪りあい、お互いの体を愛撫する事で熱を交換しあい、双方合意の上で永遠の契りを交わして、僕らはそのまま二人で眠りに落ちたのだった。

これが長い文。短い文はこう。

7月22日 晴れ

やった。

いかがでしょうか。

取り返しがつかないくらい分かりやすくなっています。
少しくらい躊躇した方がいいかもしれません。

ふと思ったんですが、私は何をしているのでしょうか。

レッスン4「長く書きつづけるためには」

大好評ズタボロシリーズも、4回目を迎える事ができてもう思い残す事はありません。

それはおいておきまして、今日はちゃんと脳を使って書いてみます。

日記には3日坊主という言葉がよく似合うといえます。多分。子供の頃、日記をつけるとか言われてやっってはみたものの、めんどくさくなってやめてしまったという経験した人は少なくないでしょう。

夏休みの日記なんかもそうです。ちゃんとその日のうちに書くのは最初の数日だけで、後は8月の31日にまとめて書くというこれもまた黄金パターン。

問題は持続力。ポイントは『やる気』

やる気を持続させるためにはどうするか。

今日のテーマは『やる気』ということと話を進めていきたいと思えます。

さて、日記をかれこれ5年続けてきた私の経験から言いますと、どうすればいいのか分かりません。

脳の使用率が1パーセントを切っています。

脊髄で文章を書くところになります。気をつけましょう。

他人事のようにいつてみました。

きちんと話をまとめてみます。

大変です、まとめるものがありません。

ちゃんと脳を使うんだ。考えるんだ。
がんばれ、私ならできる。D o i t ! D o i t !

いい事思いついた。要はモチベーションです。志気です。
いかに自分を盛り上げるか。

そこであるものの存在がクローズアップされます。
日記をノートに書いて机にしまっておく従来の日記とは違い、ネット
で公開する場合、読者というモノが存在します。

これです。

読者の反応というのは、日記を書く際のモチベーションを大きく
上昇させる効果があるんじゃないかなあ多分。そんな気がします。

信憑性が京料理の味付け並みに薄くなってきました。

夏はやっぱりあっさり。

ええと、他人に反応してもらおう事で、自己顕示欲を満足させる事
が出来る。これは大きいと思います。皆様がいかがお過ごしでしょう
か。

まあなんですか、サイトやブログを開設してネットで公開してい
る時点でみんな露出趣味さ。

私の恥ずかしい所を見て！ もっと見て！ ああん、そんなに見
ないでええええ。

まとめると、長く続けるためには、読者を獲得して読んでもらう。
それによりモチベーションを持続させる。

そのためには魅力のある日記を書く。

読んでもらう事を意識して、読みやすい日記を書くことは大前提。

そんな感じの結論。滅茶苦茶書いた割にまっとうな結論が出てびっくり。

そんな感じで皆様方のネットライフが充実する一助になれば幸いです。

なお、当講座を真面目に受け取って実践、結果不利益をこうむったとしても当方は関知しません。

日記にちんことか書いたら駄目よ。

広告募集中

小説関連広告に最適です。
出版社や印刷会社はもちろん、
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくはPDF小説ネット広告募集をご覧ください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネットは2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4008c/>

小説家になろう日記講座

2009年3月24日10時16分発行